

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09030090

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】 ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 ○事業期間 平成14年度～平成28年度 ○総事業費 7,486,383千円
基本施策	3 水産業の振興	事業優先度	A	
単位施策	2 経営基盤の強化	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	雄武地区(雄武漁港)水産流通基盤整備事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成28年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	北海道	関係課	#N/A	
事業指標	工事進捗率		#N/A	
事業目標	100%	ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
住民参加	無	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

132	全体計画 事業内容	平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計	雄武漁港の外郭・水域・係留・輸送施設、用地埋立及び漁港衛生管理施設の整備  ○事業費 335,692千円 ・起債 168,300千円 ・漁組分担金 67,137千円 ・一般財源 100,255千円  道の総事業費 2,459,191千円  ※旧事業名 雄武地区特定漁港漁場整備事業(漁港整備)	○雄武漁港 <平成24年度繰越分> -3.5m岸壁(新設) L=224m 用地 A=2,100㎡ 清浄海水供給施設 一式 総事業費 926,991千円 地元負担金 124,997千円 <平成25年度分> -3.5m岸壁(新設) (L=89.9m) 道路 一式 用地 A=14,000㎡ 清浄海水供給施設 一式 総事業費 303,000千円 地元負担金 43,334千円	○雄武漁港 東護岸(新設) L=162.6m -3.5m泊地 A=2,370㎡ 道路(新設) L=460m 用地 A=11,240㎡ 清浄海水供給施設 一式 総事業費 442,000千円	○雄武漁港 -3.5m岸壁(改良) 110.0m -3.5m岸壁(新設) 98.4m 道路(新設) L=401m 道路(改良) L=110m 用地 A=20,760㎡ 総事業費 414,200千円	○雄武漁港 船揚場(改良) L=50m -3.5m岸壁(改良) 110.0m 道路(新設) L=60m 道路(改良) L=270m 総事業費 373,000千円	
計画事業費	事業費(千円)	335,692	168,331	62,234	58,527	46,600
実績事業費	財源内訳					
	国庫支出金	0	0			
	道支出金	0	0			
	地方債	168,300	34,600	49,700	46,800	37,200
	その他	67,137	33,665	12,446	11,706	9,320
一般財源	100,255	100,066	88	21	80	
実績事業費	事業費(千円)	228,750	168,039	60,711	0	0
関連事項	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	83,100	34,600	48,500		
	その他	45,749	33,607	12,142		
一般財源	99,901	99,832	69			
特定財源の名称	過疎債(ハード) 漁協負担金	(実施内容等) 起債 34,600千円 漁協負担 33,607千円 総事業費 1,237,783千円	(実施内容等) 起債 48,500千円 漁協負担 12,142千円 総事業費 436,974千円	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
【評価・実績】		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
前記計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	100%	100%	100%		
第6期計画への継続 (継続無し)	年度達成率	100%	98%	0%	0%	#DIV/0!
	全体達成率	50%	68%	68%	68%	68%
	事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆			

事業名	雄武地区(雄武漁港)水産流通基盤整備事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	横田和幸
		評価者 作成者 職氏名	産業振興課長補佐	安井雅憲

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	漁業者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	工事進捗率
【抱える課題やニーズは】	漁港の早期完成による漁港機能の高度化及び漁業活動の安全性・生産性の向上を要する。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	施設整備により漁港機能が高まり、漁業活動の安全性の向上が図られ、生産性の高い環境を創造する。	① 工事進捗率	目標年度 目標値 実績値
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	衛生管理の強化など漁港機能が高まり、新鮮で安心・安全な水産物の生産と、漁業活動の安全性・生産性の向上を図る。		達成度 100.0 %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	漁港整備に係る地元負担金	北海道が実施する雄武漁港整備事業に対する地元負担金の支出	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	雄武漁港は本町の流通・生産拠点として重要な役割を担っており、漁港機能の高度化、衛生管理の強化、生産労働の効率化及び安全な漁業活動の確立が必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	衛生管理型漁港及び関連施設の整備促進により、漁港機能の高度化が進んでいる。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	地元負担割合が定められており、コスト削減ができないが、早期の補修要望を行うことにより、総事業費の低減が図られる。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減	
課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

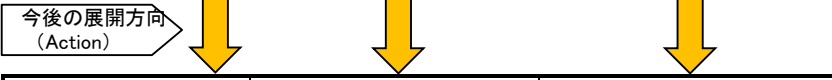
公平	判断の理由	水産基盤整備事業に係る地元負担金については、条例に基づき受益者負担金(負担額の20%)を徴収している。
公平/概ね公平	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
不公平でない	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
<b>A</b>		
施設整備により、漁港機能が高まり、漁業の安全性、生産性の向上が進んでいる。		



継続/現状維持		
雄武漁港は流通漁港の早期完成に向けて継続実施が必要である。		

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
  - 終了 ○休止 ○廃止